



## 今年度のまとめ

校長 内田 辰彦

今学校では、卒業や新年度に向けての取組が活発になっています。3月6日には6年生を送る会を行います。これは、子どもたちが考え、子どもたちのアイデアを活かした、子ども版の卒業式です。在校生はこれまでお世話になった6年生への感謝の気持ちを伝えられるように工夫します。歌や装飾、プレゼントなどに気持ちを込めていきます。特に、1年生は6年生とのかかわりが多かったと思います。また、5年生にとっても6年生は目指すお手本としての存在であり、次は自分たちが二小の伝統を引き継ぐという思いが込められています。一方6年生は、下級生と共に過ごした学校生活への感謝と、さらに二小をよい学校にしていってほしいという願いを込めていると思います。そういった気持ちが表れた練習や準備の様子がたくさん見られる時期になりました。昨年は体育館で行いましたが、今年は体育館への移動が課題なので、多目的室に6年生が入り、各学年が多目的室で出し物を披露したりプレゼントを渡したりします。そして、その様子をリモートで各教室から見られるようにします。会の終わりには、全員がスロープに集まって合唱し、その後スロープに花のアーチを作って、6年生がその中を通して退場するように計画しています。その他にも、新年度開設のクラブ活動のアイデアを5年生が考えたり、3年生がクラブ見学したりしています。委員会紹介集会も行われて、4年生が5年生になって委員会活動に主体的に参加できるようにしています。

新年度からの新たな学校生活への準備も進めています。年末に保護者の方、子どもたちからとったアンケートを基に、今年度の取組を評価して新年度に向けた取組指標を学校全体で考えました。その取組指標について、学校評議員の皆さんにご意見をいただき、新年度の取組の方向性を決めました。

新たな取組として、新年度から二小はコミュニティ・スクールとなります。今月19日に行った説明会には、保護者の方、地域の方に参加していただきました。コミュニティ・スクール初年度となる来年度は、今ある学校評議員のしゅみをベースにして、育成会やPTA、地域の方と育んできたこれまでの取組をコミュニティ・スクールの枠組みの中で継続して実施していきたいと考えています。二松クラブ、にーだんごの会、おはなしの会などの取組や、地域防災などについて学校運営協議会の会議の中で話し合って運営していきます。さらにその中で、学習や金管バンドに関するボランティアを募ったり、地域の方の才能を活かした取組が増えたりすることを期待しています。

また、今年度3年生以上で実施したAIドリル Monoxer の活用は、新年度は行いません。アンケート結果では子どもたちも保護者の方も Monoxer の効果を確認していただいていたのですが、継続については、保護者の方はほぼ半々のお考えであり、子どもたちの結果では継続を望まない数が多くなりました。現在使っているクロームブックとの相性も課題として挙げられ、うまく反応しないこともありました。来年度は現クロームブックの最終年度であり、機能の低下も懸念されます。Monoxer 使用に関するご意見も多くいただきました。このようなことを踏まえ、来年度の活用はしません。クロームブックのその他のアプリケーションのドリル機能を使ったり、従来のドリルを使ったりして、基礎学力の定着に努めていきます。

厳しい寒さが少しずつ緩み、春の予感が感じられるようになってきました。今年度の締めくくりを子どもたちと共に、新校舎と共に始まる新年度に向けて期待がもてるよう、準備を進めていきます。

本校の総合的な学習の時間の中で取り組んだ、SDGs 全国子どもポスターコンクールでは、9名の児童が国立市特別審査のテーマ賞で表彰され、さらにその中の3名の作品が全国審査に選出されて、最優秀 SDGs テーマ賞とセブンイレブン賞として表彰されました。国立第二小学校も学校賞小学校の部第1位として表彰されました。学校賞は昨年に引き続き2年連続で表彰を受けました。